

ユニセフミャンマー指定募金

みなさんの気持ちが世界の子どもたちの笑顔につながります！ に、ご協力ください！



We Support



とやま生協は、ミャンマーを支援する関西・中四国エリアの生協と連携して、ユニセフミャンマー指定募金「ミャンマーの女性と子どものための栄養支援プロジェクト」に参加しています。今年も指定募金を計画中に「ミャンマー地震」が発生しました。ミャンマー地震緊急募金の取り組みは終了しましたが、引き続きミャンマー指定募金にもご協力をお願いいたします。



ミャンマーの女性と子どものための 栄養支援プロジェクトとは

ミャンマーでは、5歳未満の子ども130万人、妊娠中・授乳中の女性96万人を含む220万人が緊急に栄養支援を必要とすると推定されています。

本プロジェクトは、栄養状況が悪化しているエーヤワディ管区と東部シャン州の特に支援の届きにくい地域において、子どもたちや女性の栄養改善を支援します。地域の保健ボランティア等への栄養指導の研修や、微量栄養素の補給などが実施されています。

ユニセフ(国連児童基金)とは

ユニセフは、世界の子どもたちの命と権利を守る主要な機関として、約190の国と地域で活動を行っています。今回お預かりする募金はミャンマーの栄養支援プログラムに活用される「指定募金」となります。

募金方法 ※募集期間 7/7(月)～8/8(金)

【3～6桁番号】注文欄

注文番号	注文数
3 7 5 1 6 1	1

※eフレンドで、宅配アプリでも注文できます。必ず注文番号にて募金をお願いいたします。

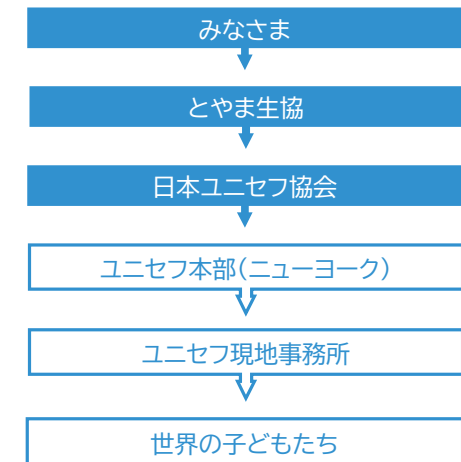
注文番号

375161

注文数「1」を記入した場合 100 円の募金に！

※お預かりした募金は、寄付金控除の対象にはなりません。
※募集期間後も、ユニセフミャンマー指定募金を受け付けています。

ユニセフ募金の流れ



募金でできる支援例



3 円

子どもたちの免疫力を高め、感染症にかかりにくくする
ビタミンA カプセル1錠



53 円

重度の栄養不良からの回復に役立つ
栄養治療食 1袋



245 円

10リットルの水を貯水・運搬できる
折り畳み式の貯水容器1つ



貯水容器



2,416 円

熱に弱いワクチンを一定の温度に保って運べる
ワクチン用保冷库1個

※裏面に具体的な支援活動例、ミャンマー地震緊急募金の報告もおこなっています。



お問い合わせ先: とやま生協 コールセンター Tel.0120-555-192(月～金 8:30～19:00)

※2025年1月時点の価格です ※輸送や配布のための費用は含まれていません

ミャンマー指定募金による支援活動例

<2015年～2022年度の募金(第1期～8期)の
活動・成果例(2016年7月～2024年6月)>

- ・8,010人の医療従事者や保健ボランティア等へ“乳幼児の栄養改善”についての研修を実施
- ・約62,000人の子どもに微量栄養素パウダーを提供
- ・栄養治療食などで栄養不良に苦しむ子ども2,614人を治療
- ・乳幼児の栄養改善カウンセリングを約73,000人のお母さんへ



上腕計測メジャーで栄養不良の診断を行うスタッフ



※2021年2月以降の政治的混乱後もユニセフは活動を継続していますが、政治的に中立の立場で、国内外のNGOや地域の保健団体等とのパートナーシップを通じて支援活動を行っています。

ミャンマー地震緊急募金 338万円が寄せられました！ ご協力ありがとうございました！

とやま生協では、ミャンマー地震の被災地で活動しているユニセフを支援するため、「ミャンマー地震緊急募金」に取り組みました。4月14日から5月31日までの短期間に3,328名の方から338万402円の募金

が寄せられました。たくさんのご協力ありがとうございました。

みなさんから寄せられた募金は、ミャンマー地震緊急募金として、6月末に(財)日本ユニセフ協会へ送金いたしました。

ミャンマー地震とその後の支援について

3月28日、マグニチュード7.7の地震がミャンマーを襲いました。

震源地は、中部マンダレー近郊で、100万人以上が住むミャンマー第2の都市です。震災前、すでに全土で650万人以上の子どもが人道支援を必要としていたとされていましたが、その危機的状況はさらに悪化しています。震災発生から1カ月以上が過ぎた現在も、多くの子どもやその家族が、まだ限られた形でしか清潔で安全な水や、保健ケア、教育へのアクセスを得られず、過密な仮設の避難所で暮らしています。余震は、子どもたちの心をさらに不安にし、トラウマを深めています。

また、雨季が到来し、被災地の特に衛生状況などが急速に悪化しています。子どもたちは、感染症やさらなる避難のリスクにもさらされています。さまざまな支援の必要性が高まっており、ユニセフも子どもたちを守るための緊急支援活動に懸命に取り組んでいます。



被災地でユニセフから新生児キットを受け取る母親たち。
©UNICEF/UNI77471/Htet



マンダレーの仮設キャンプで、ユニセフから受け取った支援物資を運ぶ。大雨でキャンプは浸水した。
© UNICEF/UNI781798/Htet